

平成28年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 和佐小 学校
校長氏名	石原 利彦
作成日	平成 29年 3月10日

1 教育目標

心身ともに健康で、人間性豊かな実践力のある子どもを育てる

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> * 学校の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信を積極的に行う。 ・信頼される学校づくりに取り組む。 * 地域の教育力の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々とのふれあいを大切に交流活動を推進する。 ・史跡など地域環境や人材を活用した学習活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 自己肯定感や自尊感情の育成のために、①健康ではつらつとした学校生活②楽しい、温もりのあるふれあい③安全で心配のない学校生活の3つの視点をもって教職員が教育を推進した。 ・保護者と連携し、基本的生活習慣の定着や規範意識の育成を図る。 ・いじめなくそうデーへの取組 	<ul style="list-style-type: none"> * 確かな学力の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識技能の定着を図る。 ・学習習慣を身に付け、家庭学習の定着及び充実を図る。 * 校内研修と実践の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に取り組める授業展開に取り組む。 ・よりわかる授業実践に取り組み、児童の学習意欲の向上と確かな学力を身に付けさせる。
取組の状況【D】	<p>①学校からの情報提供については、学年・学校便りやHP等で取り組んだが、保護者へのアンケートの結果からさらに工夫が必要と感じている。</p> <p>②地域の方のゲストティーチャーによる体験学習や和佐の歴史学習、及び今年度は旧中筋家住宅を昨年度より活用した。</p>	<p>①朝の校門での挨拶運動は、今年度も継続して取り組んだ。地域の方からも子どもたちがよく挨拶をしてくれると評価を得ている。</p> <p>②温かい学級づくりの取組として、毎月のいじめなくそうデーの日に、アンケートを実施し、学校生活で問題があれば迅速に取り組めるようにした。</p> <p>③競技会やコンクール等で努力したことについては終業式等で、できるだけ表彰をし、いろんなことに取り組む意欲を高める取組を行った。</p> <p>④異学年交流を継続し、コミュニケーション力を育むことに取り組んだ。</p>	<p>①国語科を中心に校内研究授業に全職員で取り組んだ。</p> <p>②県学力到達度調査では、ほぼ目標を達成した。引き続き、本校の課題である基礎学力の定着に向けて努力と工夫を続けていく。</p> <p>③2学期に読書カードを配布し取り組んだ。取組への児童の反応はよかった。来年度も引き続き、図書館の活用への取組とともに読書活動が根付くよう努力する。</p>
(評価結果【C】) 取組の成果と課題	<p>学校からの情報提供について、保護者から十分な評価を得ていない。さらに工夫して情報を発信していきたい。旧中筋家住宅を積極的に活用した。29年度も地域の財産(人も含め)を積極的に活用し、開かれた学校づくりを推進したい。</p>	<p>挨拶については、できる児童が増えたが、その意味を理解している児童を増やす必要があると感じている。いじめなくそうデーでの取組によって、児童の困っている問題に迅速に取り組むことができるようになった。コミュニケーション力の育成は今後も継続する必要がある。</p>	<p>全職員で取り組んだ結果、授業中外で遊ぶ児童はなくなった。しかし、席についても授業に取り組めない児童が一部いる。来年度も、教員の授業力アップに取り組む中で、児童の学習の質をさらに高めたい。</p>
改善方法【A】 次年度に向けての	<p>①の学校からの情報発信については、学校便りの内容の工夫やHPの更新回数を増やすことやHPの紹介等に取り組みたい。</p> <p>②の地域に開かれた学校づくりについては、29年度よりコミュニティスクール制度を取り入れた学校評価を実施し、さらに地域と深く連携していきたい。</p>	<p>①挨拶については、併せて掃除や礼儀等の教育に「立腰教育」を取り入れつつ取組を続けていく。</p> <p>②温かく安心して学習できる学校構築のため、いじめなくそうデーへの取組等引き続きチームワークを大切にして取り組む。</p> <p>③児童が自信を持ち、自己肯定感を高められるよう学校経営に取り組む。</p>	<p>①教員の授業力向上のための校内研修をより質の高い内容になるよう取り組む。</p> <p>②スキルアップタイム等をさらに有効に活用し、基礎学力の定着を推進する。</p> <p>③図書館の活用の推進とともに読書活動への取組を強化する。</p>

3 その他の課題

- ①遊具の修繕やペンキの塗り直し等安全上の課題については、一定の取組ができた。
- ②通学路や登下校時の安全対策について取組を継続する。
- ③緊急時の学校への進入路の確保に向けての取組を継続する。
- ④育友会の在り方について、役員の方々と話し合い取組を進める。